

1月20日（木）

博物館では2月下旬から「梅まつり」を開催します。といっても、別館前にある梅を見てもらうだけなので、ほかに何か催しが必要だなと考えました。今、初詣展を開催していますが、「梅まつり」には梅に関するパネル展をすることにしました。梅といえば、元号「令和」の典拠である万葉集の「梅花歌三十二首并序」でしょう。それで、三十二首を掲示するため、その短歌を調べています。

また、梅を見ながら抹茶をいただく企画も練っています。コロナ感染予防のため、紙製の茶碗（キャンプで使うようなチャチなものではありません）を使用し、菓子を付けたメニューにする予定ですが、案外費用がかかります。試算では1杯500円にしても元が取れないとなりました。さて、赤字覚悟でやるのかどうか、思案のしどころです。